

保護者・地域の皆様

## 令和7年度 改善方策について実行した改善結果

世田谷区立武蔵丘小学校  
校長 今宮 直樹

前年度に提案した改善方策について実行した結果を、下記のとおり報告します。

### 記

#### 重点目標

##### 1 キャリア・未来デザイン教育の一層の充実

###### (1) 改善方策

- ・児童においては、キャリア・未来デザイン教育につながる「せたがや探究的な学び」及び「むさし探究的な学び」の実践において、一定の学習効果をあげている。引き続き、めあてを振り返り、見通しをもって自己実現できる力を育てていく。
- ・保護者においては、「キャリア」を将来の夢や職業限定として捉えられる傾向が見られた。そのため進学や将来を見据えた高学年の評価は高い。一方その他の学年においては低い回答であった。目標をもち、目標への達成の道筋や積み重ねがキャリア教育の大切なことを、児童のみならず保護者へも伝えていく必要がある。
- ・保護者と児童が連携をしている「キャリア・パスポート」をより活用していく。
- ・キャリア・未来デザイン教育の理解を得るため、ねらいと活動の内容、人材の活用、ホームページへの掲載や保護者会や学校だより等で周知していく。

###### (2) 改善結果

- ・重点目標にした理由は、「キャリア教育」に関する児童の評価が70%の肯定回答に対して、保護者からの肯定的評価は50%。保護者への周知が必要であったためである。
- ・キャリア＝職業という意識があり、将来への見通しはあいまいとなり、肯定的回答が低くなるのが児童や保護者からも見られた。キャリアパスポートや人材について、より活用はしてきたが、引き続き、未来へつながることへの周知や、教育課程の編成等を充実していく。

##### 2 学び舎の中学校に関する情報の提供

###### (1) 改善方策

- ・本校においては、中学生が運動会のボランティアに参加したり、職業体験で来校したりしている。周知する機会を逸することが多いので、積極的に周知していく。
- ・年に3回、「学び舎の日」があり、小中の教員が、烏山地域の子どもたちのために授業や

会議を行っている。年度当初の保護者会では伝えているが、その様子をホームページや学校だより等で、発信を意図的に多くし、随時保護者に伝えていく。

- ・中学生生徒会が「学校説明会」として11月に来校し、プレゼンテーションをしている。また部活動体験についても内容について保護者に伝えられるとよい。
- ・小学生には、中学校への見通しをもたせるため、キャリア教育との連携を深める。

## (2) 改善結果

- ・重点目標にした理由は、「学び舎の区立中学校について情報が提供されている」の保護者による肯定的評価が31%。保護者への周知が必要であったためである。
- ・学び舎の日を学期に1度設定し、教員間では、児童生徒の学習指導、生活指導の共通理解を図ってきた。さらに烏山地域の学舎としての「小中、生活スタนด์ード」の作成を視野に入れ始めたところである。本校ホームページにおいては、小中連携のリンクがあるものの、行事等への積極的な周知はまだ不足していた。幼保と小との連携が現在充実している中、小中連携を引き続き深めていく。